ハトマークフェアプレーカップ
第３５回東京都４年生サッカー大会
東京都中央大会　　競技運営

出場チーム各位　　**東京都少年サッカー連盟競技部**

1.　期日と会場　　２０１６年6月１８日（土)、6月１９日（日）
府中市少年サッカー場３、４コート
府中市朝日サッカー場

2.　試合開始時間と開会式

１８日（土）	開会式	９：００
	第１試合	１０：００
１９日（日）	第１試合	９：１５

3.　競技方法

＊　リーグ戦およびトーナメント戦
＊　試合時間は４０分　２０分ハーフとし、インターバルは５分とする。
＊　トーナメント戦で規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は PK 戦を行う。
＊　トーナメント戦の決勝戦は５分ハーフの延長戦、後 PK 戦を行う。
＊　８人制による競技とする。
＊　ピッチサイズは６０m×４０mを基本とする。
＊　使用球は　４号球、空気圧は０、５とする。
＊　４ブロックでＡからＤまでの４グループに別れ、グループ内での試合となる
＊　審判は１人制を採用する。
＊　キックオフから直接得点することは出来ない。キックオフからボールが直接相手ゴールに入った場合には、相手にゴールキックが与えられる。

4.　競技規則

＊　大会実施年度の（公財）日本サッカー協会規則による。
但し、以下の項目については少年用として大会規則を定め優先する。
＊　試合ごとに８名以上の登録でチームを構成する。
＊　試合開始時に８人が必要である。
＊　試合途中、けがなどの理由で７人以下となった場合、その試合は続けるがピッチには８人がいることが原則。
＊　試合が成立し、次回戦は進んだ時、試合開始時には８人いなければ参考試合となる。
＊　交代は自由な交代制。(交代ゾーンを用いる自由交代とする)。
＊　ゴールキーパーの交代は事前に主審に告げ、アウトオブプレー中に行う。
＊　本大会において、退場を命じられた場合、その競技者チームは競技者を補充

する。

＊　退場を命じられた競技者は次の１試合に出場できない。
　（それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する）

＊　ベンチに入ることのできる人数は制限をしない。但し、引率指導者は３名とする

＊　引率指導者は、必ず２名ベンチに入らなければならない。

＊　テクニカルエリアを設置しない、戦術的指示はその都度ただ１人の引率者が伝えることができる。

＊　負傷した競技者の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は１名とする。

＊　本大会に参加する競技者は、登録選手証（写真貼付）を携帯すること。

＊　不携帯の競技者は当該試合への出場を認めない。

＊　特設 PK コートついて
　トーナメント戦では使用する場合があります。

5.　競技運営について

（１）　チームベンチ

＊　ベンチは、ピッチに向かってトーナメント表の左が左側ベンチ、右が右側ベンチを使用する。リーグ戦では、表の上または番号の若いが左側とする。

（２）　試合前のウォーミングアップ場所

＊　指定された場所とする。

（３）　試合中のウォーミングアップ場所

＊　ベンチ後のスペースを使用すること。

＊　ハーフタイムのピッチは使用できない。

（４）　メンバー表の提出

＊　メンバー表は指定用紙を使用する。

＊　試合の３０分前までに、メンバー表２部を選手証と共にコート本部へ提出する。

（５）　選手交代

＊　「選手交代ゾーン」を用いる自由交代制とする。

＊　タッチラインに「選手交代ゾーン」（ハーフウェーラインを挟んで両側に３ｍ）を設置する。

（６）　ユニフォームについて

＊　審判部の指示に従う。

＊　フィールドプレイヤー、ゴールキーパーともに、正副２着を用意する。
　（シャツ、ショーツ、ストッキング）

＊　チーム名、ロゴ、エンブレム等が前部に付いているもの。

＊　背番号・胸番号の付いているもの。

＊　上記の番号は選手固有のものとする。

＊　ユニフォームチェックは開会式終了後、リーグ戦グループごとに行う。

（７）　メンバーチェックについて

＊　選手は試合開始１０分前に指定集合場所でチェックを受けること。

（８）　挨拶について

＊　試合終了後のチームベンチへの挨拶は、今大会では行わない。
　なお、審判への挨拶も同様に行わない。

6.　その他

（１）　キックオフ前後のセレモニーは行わない。

（２）　暑熱下においては、前後半の中程で飲水タイムを採用する。
ＷＢＧＴの計測による熱中症予防のための状況データを基に、大会本部で決定する。
実施する場合には、各セクション、チームに伝える。（キックオフ３０分前）

（３）　会場関係
大会当日会場に来る指導者、保護者、選手、関係者に、会場使用の注意事項を徹底しておくこと。
ハンドブック P46、P47 に記載の中央大会参加に関する要件を厳守する。
バナー（応援幕）は、応援席側、飛行場側に限って張ることが出来る。

２０１６．０４．２５

暴力も暴言もない、安心、安全な大会運営　競技部